

評価項目：経鼻経管栄養

実施手順	評価項目	評価の視点	
実施準備	1	医師の指示等の確認を行う	注入物・注入量・注入時間・留意点等の確認ができているか。
	2	手洗いを行う	石鹸と流水またはすりこみ式のアルコール製剤により手指を清潔にしているか。手洗い方法が守られているか。
	3	必要な物品を準備する	必要物品が準備できているか。 使用物品の状況を確認し、劣化、漏れ、汚染状況を観察しているか。
	4	指示された栄養剤(流動食)の種類・量・時間を確認する	氏名・経管栄養剤の内容と量・有効期限・注入開始時間・注入時間を確認できているか。
	5	経管栄養の注入準備を行う	栄養剤は本人のものであることを確認しているか。栄養剤を適温にできているか。栄養点滴チューブ内の空気を排除し準備しているか。イルリガートル(ボトル)のふたは確実に閉めているか。
	6	準備した栄養剤(流動食)を利用者のもとの運ぶ	栄養剤が本人のものであることを確認できているか。
ケア実施	7	利用者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する	意識レベルの低い場合でも、利用者に処置の説明を行っているか。
	8	注入する栄養剤(流動食)が利用者本人のものかどうかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する	栄養剤が利用者本人のものであるか確認できているか。適切な体位をとれているか。接続部より 50cm 以上高い所にイルリガートル(ボトル)の液面があるか。
	9	経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する。	経管栄養チューブが、ねじれたり折れたりしていないか、固定が外れていないかを確認しているか。外れないように接続できているか。
	10	注入を開始し、注入直後の様子を観察する	利用者の状態に異常がないか確認しているか。滴下速度は指示されたとおりであるか。
	11	注入中の表情や状態を定期的に観察する	全身状態の観察ができているか。むせこみ、表情の変化などの観察を行っているか。
	12	注入中の利用者の体位を観察する	適切な体位を維持できているか。
	13	注入物の滴下の状態を観察する	注入物の滴下が適切かどうか、観察できているか。
	14	注入中に利用者の状態(気分不快、腹部膨満感、おう気・おう吐、腹痛、呼吸困難、むせ込み、顔色・表情の変化、苦悶表情の出現等)を観察する	注入中に利用者が気分不快、腹部膨満感、おう気・おう吐などを訴えていないかを確認できているか。 異常を発見した場合は研修講師に連絡し、対応できているか。
	15	注入終了後はクレンメを閉め、経管栄養チューブの連結をはずす	クレンメを確実に閉め、接続を外す際はチューブを抜去しないように注意しているか。
	16	経管栄養チューブに白湯を注入し、状態を観察する	注入終了後に、白湯を注入しているか。利用者の状態を観察しているか。
17	半座位の状態を保つ	半座位の状態を保持しているか。	
結果	18	利用者の状態を食後しばらく観察し、看護職員に報告する	研修講師に、腹部膨満感、おう気・おう吐、腹痛、呼吸困難や表情の変化など観察し、報告ができているか。
確認	19	体位交換が必要な利用者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する	おう吐を誘発する可能性もあり、観察し報告できているか。
報告	20	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)	手順のミスや対象者のいつもと違った変化について、正確に報告ができているか。
片付け	21	使用物品を速やかに後片付けする	使用物品は決められた方法洗浄・消毒を行っているか。環境を汚染していないか。
記録	22	ケア実施の証明及び今後のケアプランに活用できるように記録する	実施時刻、栄養剤(流動食)の種類、量等について記録しているか。記載もれはないか。適切な内容の記載ができているか。

研修受講者氏名 _____

本票ページ数 _____ / _____

実施手順	評価項目	評価							
		回数	回目	回目	回目	回目	回目	回目	回目
		回数	回目	回目	回目	回目	回目	回目	回目
		月日	/	/	/	/	/	/	/
		時間							
準備	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
実施	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
報告	18								
	19								
	20								
片付け	21								
記録	22								
アの個数 計									

(自由記載欄)

回目	
回目	
回目	

(評価項目)

ア. 手引きの手順どおりに実施できている。

イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた。

ウ. この項目について、抜かした。